

# 系統性を意識した 生活単元学習の協働的推進

— 育成を目指す資質・能力を明確にした単元配列表の作成を通して —

広島県立呉特別支援学校  
丸山 峰朗

※ 本資料中のイラストにはMicrosoft Copilot (画像生成機能)  
にイラスト作成指示を出して作成したものが含まれます。

## 所属校について

|        |  |
|--------|--|
| 学校名    | 広島県立呉特別支援学校                            |
| 児童生徒数  | 144名(小:51名、中:31名、高:62名)<br>※ 令和7年12月時点 |
| 学校教育目標 | 「自信をもって、選択・決定することができる児童生徒の育成」          |

生活単元学習を  
全学部で行っています。



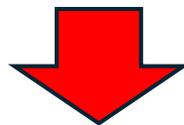


知的障害のある児童生徒の学習上の特性としては、学習によって得た知識や技能が断片的になりやすく、実際の生活の場面の中で生かすことが難しいことが挙げられる。そのため、実際の生活場面に即しながら、繰り返して学習することにより、必要な知識や技能等を身に付けられるようにする継続的、段階的な指導が重要となる。

特別支援学校学習指導要領解説各教科等編(小学部・中学部) P.26

生活単元学習は、児童生徒が生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的・体系的に経験することによって、自立や社会参加のために必要な事柄を実際的・総合的に学習するものである。

特別支援学校学習指導要領解説各教科等編(小学部・中学部) P.32



児童生徒が生活の中で出会う課題や願いを学びとして、

- 系統的に経験できる教育課程の編成
- 教師による継続的、段階的な指導

# 課題への気付き

目標

あいさつ( )

1. 身体力強化

みる

1. 元のしごと

さしかえ

目標



一日のスケジュール

| やること | いえのしごと    |
|------|-----------|
|      | おきる       |
| 6:30 | あさごはんをつくる |
| 7:00 | おこす       |
| 7:10 | かおをあらう    |
| 7:20 | ふとんたたみ    |
| 7:30 | さがえのてつだい  |
| 7:40 | あでごはん     |
| 7:50 | しよっきならべ   |
| 8:00 | がっこうへいく   |
| 8:10 | がっこうのじゅんぴ |
| 8:20 | かたづけ、つくえふ |
|      | ごみだし      |
|      | へやそうじ     |
|      | せんたくせ     |
|      | ひるごは      |

〇〇をがんばりました!

系統的な学習ができるようになってきているのかな…。

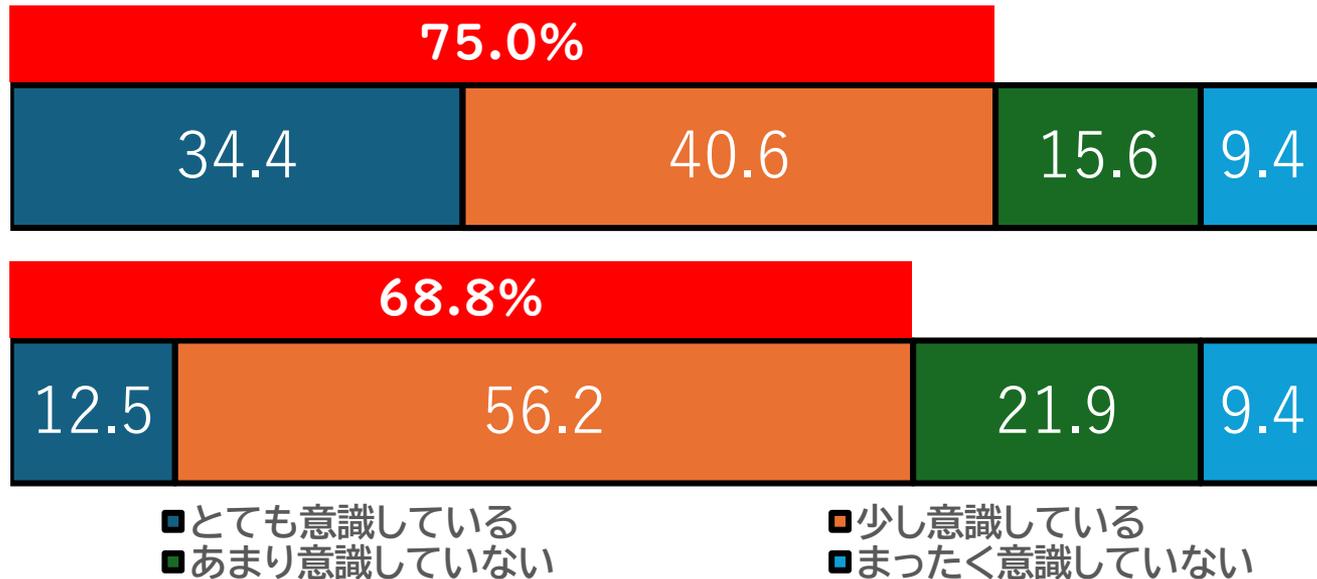
# アンケート調査（授業づくりに関する意識）

## アンケート項目

①生活単元学習の授業で、前年度の学習内容との関連について、どの程度意識していますか。

②生活単元学習の授業で、次年度の学習内容との関連について、どの程度意識していますか。

教職員 n=33

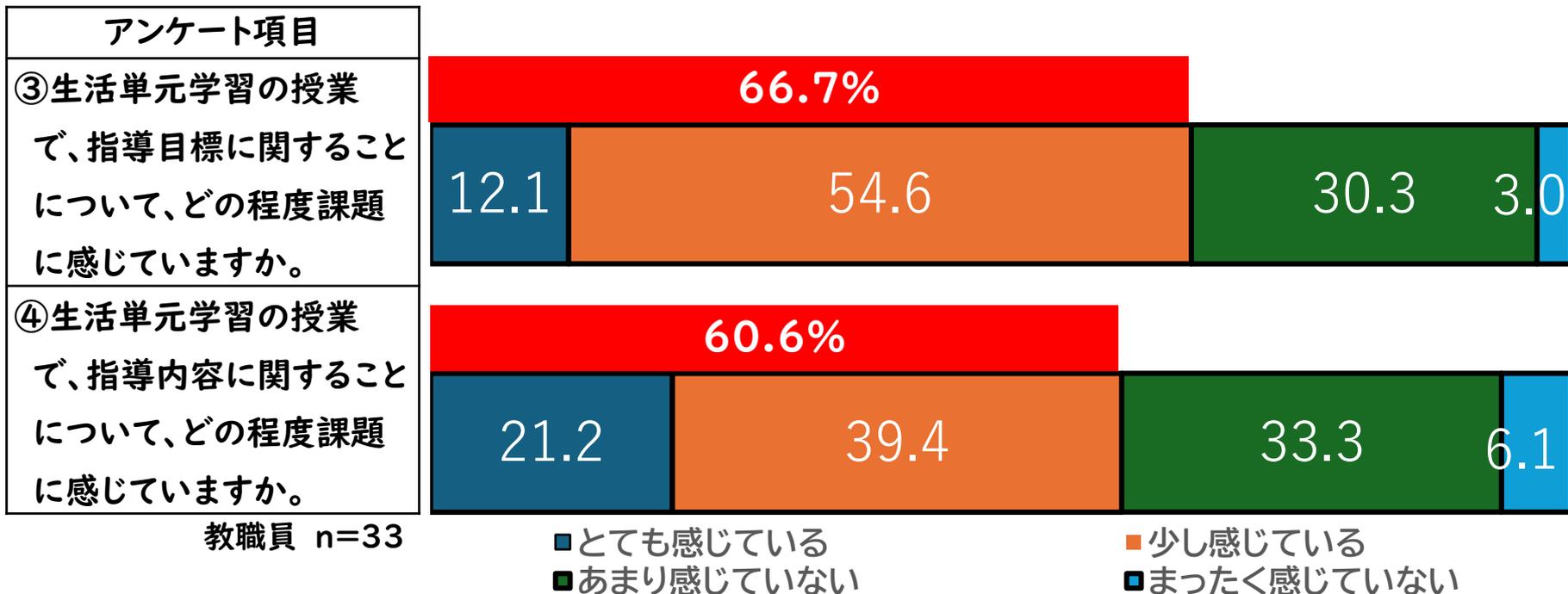


前年度の指導内容は参考にはしていますが…。

卒業後を見据え、今の実態を大切にしています。次年度の学習内容はちょっと…。



# アンケート調査（授業に関する課題感）



指導内容が偏っている気がする。

各単元間のつながりが見えにくいかな。



年間指導計画へ  
反映

## 生活単元学習の 単元配列表を作成

育成を目指す資質・能力

学習活動の系統性

学部を越えて  
協働・共有

昨年度の学習を  
踏まえて、今年は  
発展的な学習活  
動を計画してみ  
よう。



教員の意識改善

教育課程の改善

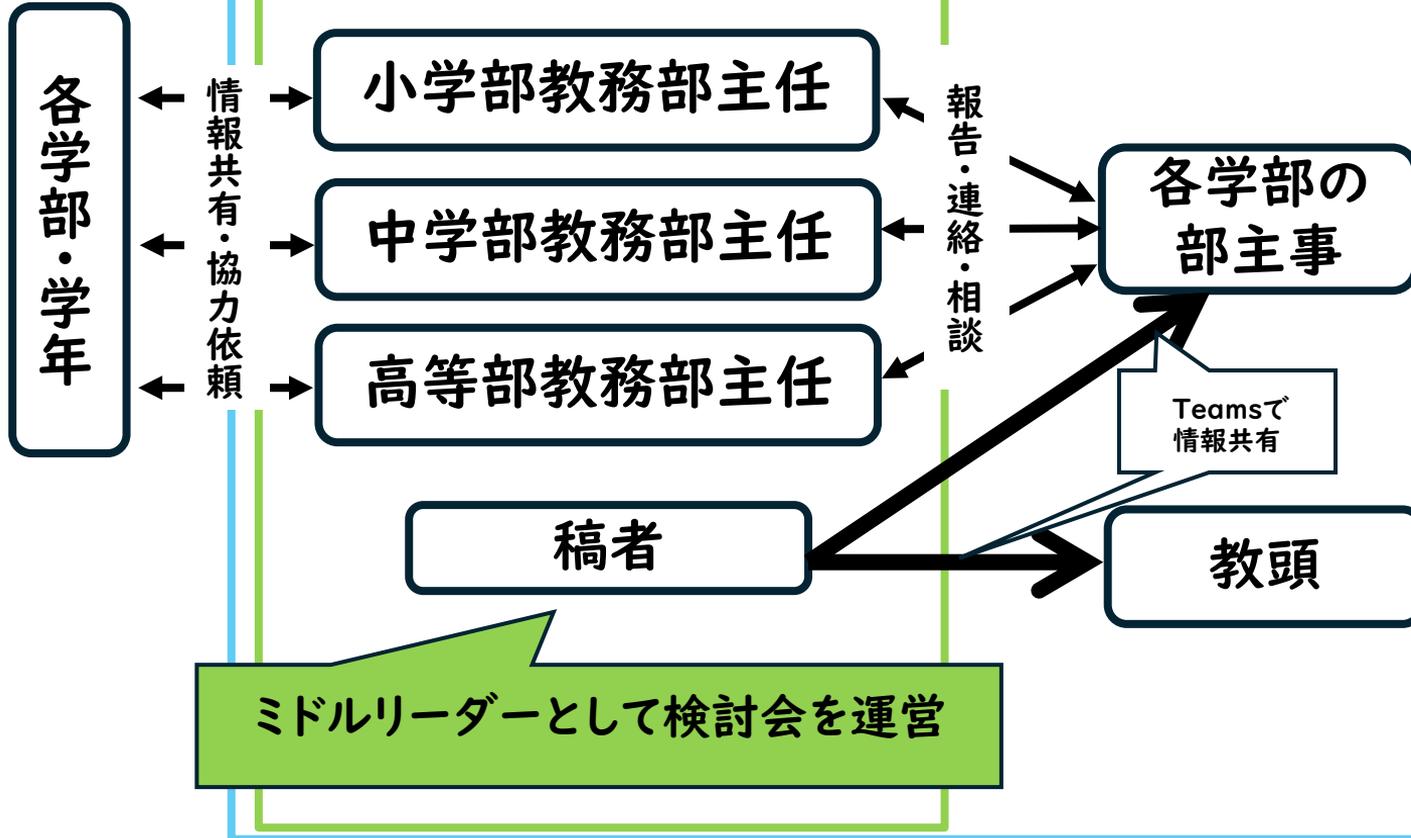
児童生徒に  
どんな力を付けるた  
めに、どんな学習活  
動が必要だろうか？



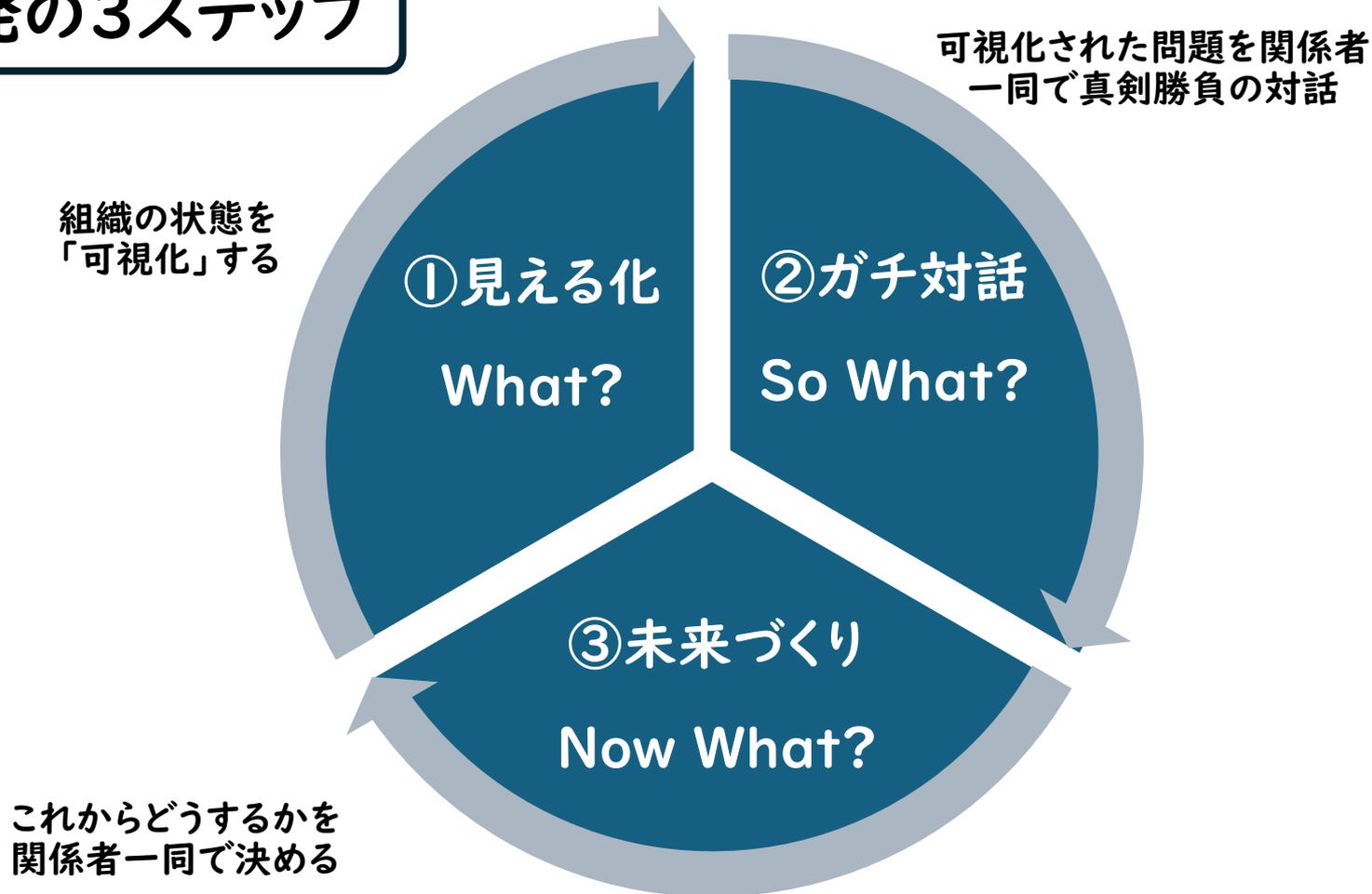
生活単元学習の授業改善を協働的に推進

# 単元配列表検討会の参画者

## 単元配列表検討会



# 組織開発の3ステップ



# 検討会での3ステップ

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 見える化<br>【課題の明確化】      | <ul style="list-style-type: none"><li>・アンケート調査及びインタビューから得られたデータ等に基づく所属校の現状と問題点の洗い出し</li></ul>  |
| ガチ対話<br>【ビジョンの共有と具体化】 | <ul style="list-style-type: none"><li>・生活単元学習の単元配列表作成の目的と手段の共有</li><li>・学校教育目標に照らした育成を目指す資質・能力の具体化</li><li>・目的達成に向けた建設的な協議</li></ul> |
| 未来づくり<br>【具現化と発信】     | <ul style="list-style-type: none"><li>・系統性のある生活単元学習の単元配列表完成</li><li>・教育課程編成における生活単元学習の単元配列表の活用</li></ul>                             |

## 効率的で効果的な検討会の運営

○ 参画者の当事者意識

○ 課題に焦点化した協議

# 単元配列表検討会

検討会の各回でも、  
3ステップを意識!

アンケート結果の分析

テーマの決定

テーマに基づく単元の分類

ゴールの設定と手立ての検討

単元配列表案の作成

段階表の作成

指導目標と指導内容の系統性を確認

令和8年度生活単元学習の単元配列表完成

見える化

ガチ対話

未来づくり

各学部・学年へ  
協力を依頼

見直し、改善

## 【見える化】アンケート結果の分析

指導内容は学部を越えると意識しづらいね。

単元の目標を整理する必要があるね。

現状、生活単元学習の系統性って、どのくらいあるのかな。

分類するにはテーマが必要じゃない？

一度、単元を分類してみませんか？



## 【見える化】テーマの決定

|                 |  |
|-----------------|--|
| 1 学校生活          | <ul style="list-style-type: none"><li>・学校生活に見通しをもつための学習</li><li>・1年間の学習活動を振り返る学習</li></ul>                                       |
| 2 家庭生活          | <ul style="list-style-type: none"><li>・卒業後の生活の充実につなげる学習</li><li>・衣食住の生活について、体験を通して考える学習</li></ul>                                |
| 3 地域生活・<br>余暇生活 | <ul style="list-style-type: none"><li>・自分たちが生活している地域の公共施設や公共交通機関の利用を通し、マナーを学ぶ学習</li><li>・余暇の楽しみ方を知り、卒業後の余暇生活の充実につなげる学習</li></ul> |
| 4 栽培・自然         | <ul style="list-style-type: none"><li>・野菜等を育て、収穫する喜びを通して、自然や食品に興味や関心をもつ学習</li></ul>  |
| 5 季節・文化         | <ul style="list-style-type: none"><li>・季節の移り変わりを感じ、季節に合った過ごし方を知る学習</li><li>・日本や外国の文化を知る学習</li></ul>                              |
| 6 行事            | <ul style="list-style-type: none"><li>・行事に向けた事前事後学習</li></ul>  |



## 「見える化」で明らかになった課題

- テーマによっては学習活動が設定されていない学年がある。
- テーマごとに単元数の偏りがある。
- 単元名から学習活動を想像しにくい単元がある。
- 学年間で指導内容が逆転している単元がある。

検討会でこれらの課題を  
どうやったら解決できる  
か考えましょう!



## 【ガチ対話】ゴール設定と手立ての検討

検討会  
で

学部・学年を越えた系統性を可視化できる生活単元学習の単元配列表を作成

- 児童生徒が学習内容をイメージしやすい単元名
- テーマに基づく学習活動
  - ・ 段階的な指導目標
  - ・ 前年度、次年度とつながる指導内容



各学部・学年  
へ依頼



年間指導計画への反映 → 全学年で系統性のある学習活動を展開

【ガチ対話】ゴール設定と手立ての検討

テーマによっては、  
学習活動が設定  
されていない学年  
があるね。

新たな単元の設定を  
学年に依頼しよう。

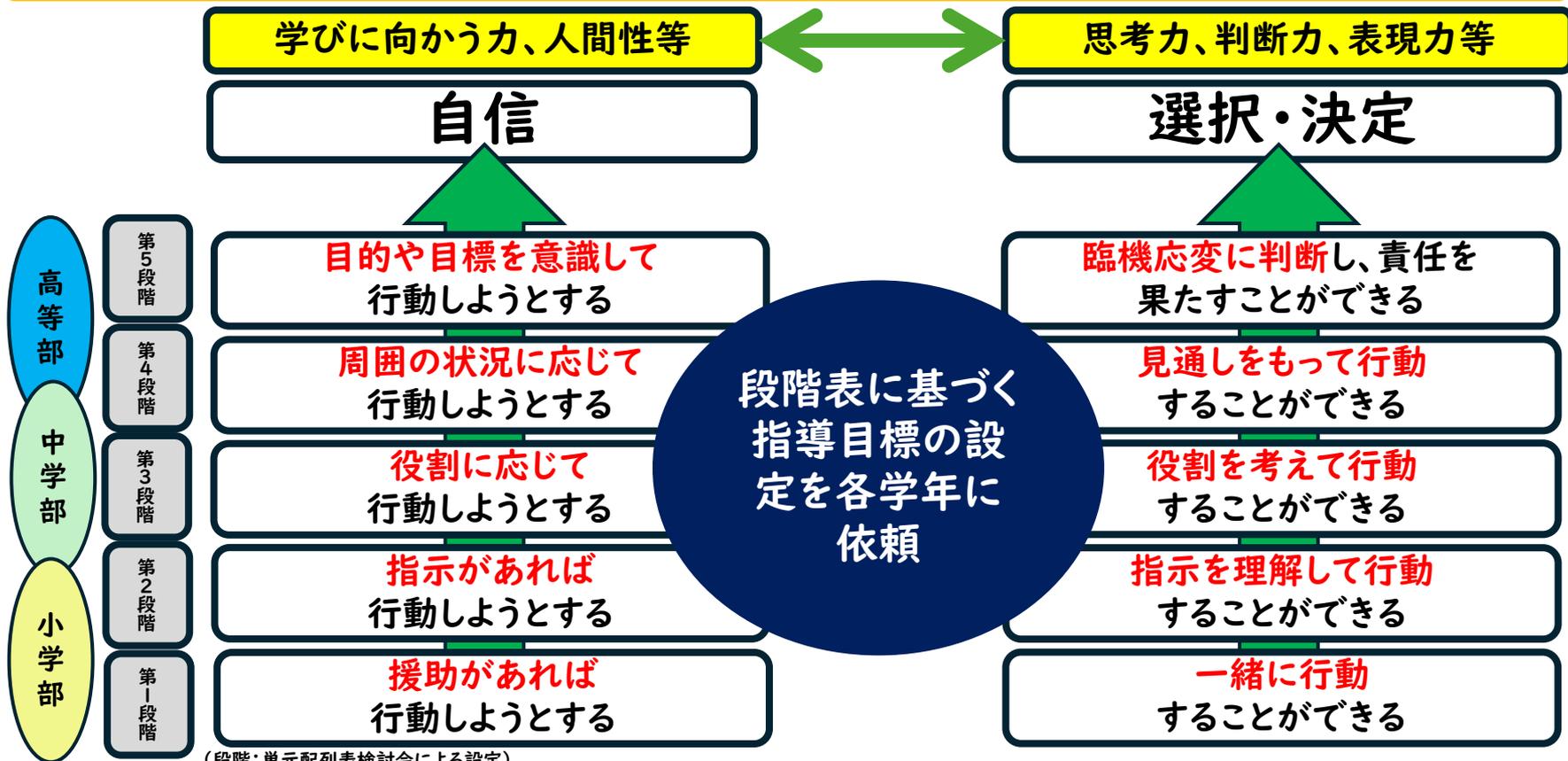
学校教育目標と関  
連付けて、指導目標  
を整理してみませ  
んか？



指導目標を立てる  
時に参考になるも  
のが必要じゃない  
かな。

## 【ガチ対話】 段階表の作成

学校教育目標：自信をもって、選択・決定することができる児童生徒の育成



まだテーマ内での系統性が十分とは言えないね。

学年の先生方の思いも大切にしたいね。



もう一度、単元配列表案を練り直して、提案してみませんか？

- 指導目標を三つの柱で整理
- 段階表を活用した指導目標の設定
- テーマに応じた系統的な指導内容の設定

テーマ  
「地域生活・余暇生活」

|             | 令和7年度  | 令和8年度  |
|-------------|--|--|
| 高等部<br>第2学年 | <p>【公共施設の利用】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・公共施設の利用の仕方や、マナーについて理解し、実践しようとすることができる。</li></ul> | <p>【公共施設の利用】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・（知）校外学習の行程や目的を踏まえ、自分の役割を理解することができる。</li><li>・（思）校外学習における公共施設の利用の仕方について、<u>ルールやマナーに着目して、利用者として適切な行動を取ることができる。</u></li><li>・（学）校外学習を通して、<u>地域社会の一員としての自覚を深め、学んだことを実際の生活場面で活かそうとしている。</u></li></ul> |

テーマ  
「地域生活・余暇生活」

段階表：【選択・決定】  
臨機応変に判断し、責任を  
果たすことができる

|             | 令和7年度   | 令和8年度   |
|-------------|---|---|
| 高等部<br>第2学年 | <p>【公共施設の利用】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・公共施設の利用の仕方や、マナーについて理解し、実践しようとする事ができる。</li></ul> | <p>【公共施設の利用】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・(知) 校外学習の行程や目的を踏まえ、自分の役割を理解することができる。</li><li>・(思) 校外学習における<u>公共施設の利用の仕方について、ルールやマナーに着目して、利用者として適切な行動を取ることが</u>できる。</li><li>・(学) 校外学習を通して、<u>地域社会の一員としての自覚を深め、学んだことを実際の生活場面で活かそうとしている。</u></li></ul> |

指示があれば行動しようとする

→ 援助があれば行動しようとする

テーマ

「地域生活・余暇生活」

|             | 令和7年度  | 令和8年度  |
|-------------|--|--|
| 小学部<br>第4学年 | <p>【町探検をしよう】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・（知）身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。</li><li>・（思）身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとすることができる。</li><li>・（学）教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとする。</li></ul> | <p>【町探検をしよう】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・（知）身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などについて知ることができる。</li><li>・（思）身近な公共施設を利用する際に、<u>簡単なきまりやマナーを守って行動することができる。</u></li><li>・（学）<u>教師の援助を受けながら、身近な公共施設を利用する際のマナーに気付き、それらを守って行動しようとしている。</u></li></ul> |

【未来づくり】令和8年度生活単元学習の単元配列表完成

テーマ  
「地域生活・余暇生活」

|             | 令和7年度   | 令和8年度  |
|-------------|---|--|
| 高等部<br>第2学年 | 方や、マナーについて<br>とすることができる。  | <p>【公共施設の利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(知) 校外学習の行程や目的を踏まえ、自分の役割を理解することができる。</li> <li>・(思) 校外学習における公共施設の利用の仕方について、ルールやマナーに着目して、利用者として適切な行動を取ることができる。</li> <li>・(学) 校外学習を通して、地域社会の一員としての自覚を深め、<u>学んだことを実際の生活場面で活かそうとしている。</u></li> </ul> |
| 中学部<br>第1学年 | 該当単元なし。   | <p>【私たちの住む町】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(知) 地域の産業について、調べたことをまとめることができる。</li> <li>・(思) 買い物学習を通して、<u>買い物に必要なやりとりを適切に行うことができる。</u></li> <li>・(学) 買い物学習を通して、<u>人と関わりながら、目的に沿った買い物をしようとしている。</u></li> </ul>                                  |
| 小学部<br>第4学年 | <p>【町探検をしよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(知) 身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。</li> <li>・(思) 身近で簡単なきまりやマナーに気付き、それらを守って行動しようとする<sup>1</sup>ことができる。</li> <li>・(学) 教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き、それらを表現しようとする。</li> </ul> | <p>【町探検をしよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(知) 身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などについて知ることができる。</li> <li>・(思) 身近な公共施設を利用する際に、<u>簡単なきまりやマナーを守って行動することができる。</u></li> <li>・(学) 教師の援助を受けながら、<u>身近な公共施設を利用する際のマナーに気付き、それらを守って行動しようとしている。</u></li> </ul>        |

## 研究の成果

単元配列表は、年間指導計画だけでは見通しにくい部分が補完されますよね！



単元配列表を活用すれば、系統性を意識した授業を展開しやすくなると思います！

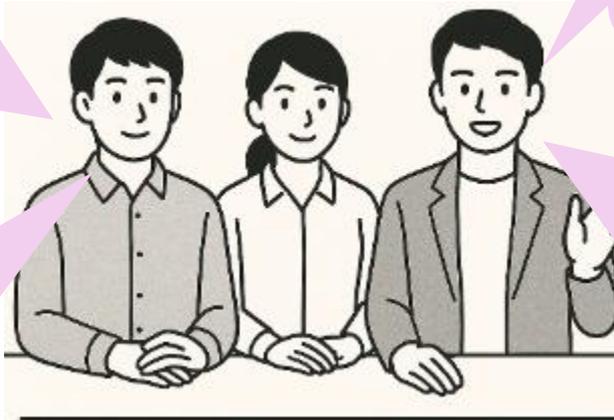


**【教育課程の改善】**  
授業者が系統性を意識した指導を展開しやすくなった。

## 研究の成果

学部や学年間の系統性を意識することの重要性が分かりました!

学校全体としてカリキュラム・マネジメントを進めたいです!



検討会を通して、系統性を意識する大切さに気付きました!

学部間でもっと連携して、系統性のある学習活動を展開していきたいです!

### 【教員の意識改善】

学部や学年を越えて教員の協働に係る意識が高まった。

## 研究の課題

- 検討会の構成について
- 検討会の実施回数、時間等の確保
- 各単元の単元時数、取り扱う各教科等の明確化

## 今後の方向性

- 完成した単元配列表の活用等に関する研修会の実施
- 単元内容一覧表(仮)の作成
- 単元配列表の見直し、改善

## ミドルリーダーとしての学び

学部と学部、検討会の教員と他の教員、学校教育目標と日々の授業実践など「つなぐ」役割が大切だと思いました！



教職員間の協働に当たっては、ビジョンなどの抽象的なイメージを共有する必要がある。その際には、具体的な言葉や図で表すことが有効であった。

ミドルリーダーは、集団に方向性を示すだけでなく、学部・学年などの壁を越えて、ゴールを共に考え、協働できるような働きかけ（工夫）をしていくことが大切だと感じています。

# 参考文献

## 【主な参考文献】

- ・文部科学省(令和3年):「特別支援学校学習指導要領解説知的障害者教科等編(上)(高等部)」ジヤース教育新社
- ・文部科学省(令和3年):「特別支援学校学習指導要領解説総則等編(高等部)」ジヤース教育新社
- ・文部科学省(平成30年):「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説総則編(幼稚部・小学部・中学部)」開隆堂出版
- ・三浦光哉(2022):「特別支援学校が目指すカリキュラム・マネジメント～参画チェックリストと7つの要素を動かす15の仕掛け～」ジヤース教育新社
- ・中原淳+中村和彦(2018):「組織開発の探究—理論に学び、実践に活かす」ダイヤモンド社
- ・名古屋恒彦(令和元年):「各教科等を合わせた指導」エッセンシャルブック 子ども主体の学校生活と確かな学びを実現する「リアルの教育学」ジヤース教育新社
- ・石塚謙二(2012):「一人一人の活動と参加を高める領域・教科を合わせた指導—知的障害児の自立を目指して—」明治図書出版
- ・文部科学省(令和6年):中央教育審議会「令和の日本型学校教育」を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について～全ての子供たちへのよりよい教育の実現を目指した、学びの専門職としての「働きやすさ」と「働きがい」の両立に向けて～(答申)」
- ・田村知子(2011):「実践・カリキュラムマネジメント」ぎょうせい
- ・国立特別支援教育総合研究所(平成29年):「知的障害教育における「育成すべき資質・能力」を踏まえた教育課程編成の在り方—アクティブ・ラーニングを活用した各教科の目標・内容・方法・学習評価の一体化—平成27年度～28年度 研究成果報告書」
- ・佐古秀一(2019):「管理職のための学校経営R-PDCA 内発的な改善力を高めるマネジメントサイクル」明治図書出版
- ・名古屋恒彦(2016):「わかる!できる!各教科等を合わせた指導」—どの子も本気になれる特別支援教育の授業づくり—教育出版
- ・宮城県総合教育センター専門研究特別支援教育研究グループ(令和3年度):「特別支援学校、特別支援学級 知的障害教育のためのみやぎ授業づくりガイド」第2章㊦ってみよう!授業づくり(実践編)  
【<https://www.edu-c.pref.miyagi.jp/midori/tokushi/jyugyoudukuri/img/2syouall.pdf>】
- ・文部科学省(平成30年):「特別支援学校学習指導要領解説各教科等編(小学部・中学部)」開隆堂出版
- ・文部科学省(令和2年):「特別支援学校小学部・中学部学習評価参考資料」特別支援学校小学部第1章生活  
【[https://www.mext.go.jp/content/20200515-mxt\\_tokubetu01-1386427.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20200515-mxt_tokubetu01-1386427.pdf)】